

大学名 九州大学

第69号 特集テーマ「国立大学のこれから」

表題 総合知で社会変革を牽引し、理想とする未来社会の実現に貢献

【特色ある取組】

予測困難な現代社会では、理想の未来社会を描き、その実現を追求する試みが重要で、「総合知で社会変革を牽引する大学」を目指す本学は、研究成果の社会実装まで見据えた取組を先導する3組織を令和4年4月に設置した。

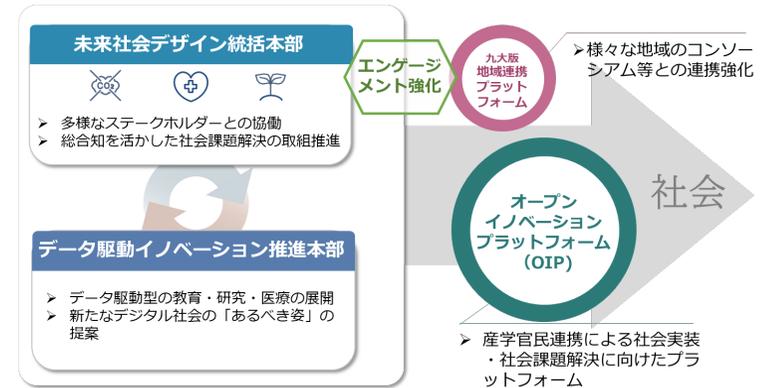
「未来社会デザイン統括本部」は、本学が最優先で取り組む社会的課題の3領域（脱炭素、医療・健康、環境・食料）を推進するためデザイン分野を中心とした多様な分野の研究者で構成する「シンクタンクユニット」を核に、理想とする未来社会とそこに至る課題解決のプロセスをデザインし、実現に必要な研究の活性化を図る。

「データ駆動イノベーション推進本部」はデータ駆動型の教育、研究、医療を展開し、この2つの本部が一体となり、総合知の創出・活用によるイノベーションを推進する。

さらに、「オープンイノベーションプラットフォーム」は、研究成果の事業化・社会実装化を促進し社会変革につなげ、持続可能な社会の発展と人々の多様な幸せを実現できる社会づくりに貢献する。

【期待できる成果】

地域の現状と課題を踏まえ策定された地域の成長産業戦略と協調し、自治体や企業等と協働した社会的課題解決につながる研究と成果の事業化・社会実装化の推進により、地域の産業、担い手育成など地方創生をはじめとする社会から期待される大学の役割を果たすことが可能となる。



社会変革とイノベーションを生み出す組織体制



「理想とする未来社会とは？」をテーマにしたシンポジウムの様子

参考URL

- 未来社会デザイン統括本部
<https://in2fs.kyushu-u.ac.jp/>
- データ駆動イノベーション推進本部
<https://dx.kyushu-u.ac.jp/>
- オープンイノベーションプラットフォーム
<https://airimaq.kyushu-u.ac.jp/oip/>